



月刊部員新聞

2007年1月
第15号
編集・発行 Unit

ユニバーシアード冬季競技大会

2007年1月17日から27日まで、大学生のオリンピックでもある第23回ユニバーシアード冬季競技大会(2007/トリノ)が開催されます。

幌で第15回冬季大会が、1995年には福岡で第18回夏季大会が行われております。参加人数は回数を重ねるごとに増加し、前回のインスブルック大会で二千人を超える参加者がありました。

今大会の概要

今回は昨年冬季オリンピックで盛り上がったイタリアのトリノで行われます。

実はトリノでユニバーシアードが開催されるのは初めてではなく、40年前の1966年、第4回大会に続き2回目の開催です。

ユニバーシアードとは国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する、全世界の学生総合競技大会のことです。夏季大会と冬季大会があり、近年は奇数年の2年ごとに開催されています。

今回はスキーとしてアルペン、クロスカントリ、ジャンプ、ノルディック複合、スノーボードの5つ。スケートとしてスピードスケート、フィギュア、ショートトラックの3つ。その他にアイスホッケー、バイアスロン、カーリングの各競技があります。しかしながらバイアスロン競技には今回は日本選手の参加はありません。

実施競技は夏季大会が陸上、水泳、体操、フエッティング、バスケットボール、バレーボール、テニスなど。冬季大会ではスキー、フィギュアスケート、アイスホッケーなどになっています。

各競技の開催場所は開催場所はトリノ市内において氷上競技、トリノ市内から約80キロ西にあるプラジエラリ、ジャンプ、ノル

ディック複合、同じく約93キロ西にあるバルドネッキアにてアルペンとスノーボードが行われます。

参加選手について

出場する競技者は別にある日本代表選手団編成方針に従い、各競技団体が決定します。

基本的には在学中の大学生の中から選考されますが、卒業後1年以内の競技者も選考することが可能です。

今大会の見所

今回はいつもにも増して、すでに世界レベルで戦っている競技者が多く出場します。特にメディアが注目すると思われる選手は、トリノオリンピックのアルペンで7位入賞の湯淺直樹、今シーズ

子4名、女子2名)、ノルディック複合4名(男子4名)、スノーボード4名(男子1名、女子3名)、スケート競技ではスピードスケート(男子10名、女子10名)、フィギュア8名(男子4名、女子4名)、ショートトラック2名(男子5名、女子5名)、アイスホッケー22名(男子22名)、カーリング10名(男子5名、女子5名)、合計104名になります。

第23回ユニバーシアード冬季競技大会 日本代表選手団編成方針

1. 日本代表選手は、原則として現役大学生とし、将来オリンピックなど国際大会でメダルが期待されるとして推薦された者の中から選考する。
2. 日本代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつ参加各国との友好と国際親善に寄与できる選手・役員を持って編成する。

Unit代表 澤野 博(さわの ひろし)

日本体育大学卒。社会人経験を経て欧州へ留学。乳酸を中心としてトレーニングを幅広く学ぶ。帰国後、部品となって競技者を支えるという意味で「Unit」を設立。競技種目、競技レベルを問わずトレーニング指導を中心に活動。医療系国家資格の臨床検査技師の資格を持つ異色のトレーニングコーチ。
ご意見、ご要望、仕事依頼、お問い合わせは下記まで。
0422-34-5055(Fax 兼用)、090-1999-2845 または unit@mbd.nifty.com

ちなみに・・・
僭越ながら私も前回のインスブルック大会に引き続き、アルペンのトレーナーとして帯同いたします。
競技者が最大の能力を発揮できるように、しっかりとサポートをしたいと思っております。
これをお読みの皆様も、直接関係のない競技や種目かもしれませんが、日本選手団への熱い応援をよろしくお願いたします。

はみだし：競技者のためとはいえず、この手当どいつかと思ふ大人なんだし